(財)財務会計基準機構会員

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場会社名　宝ホールディングス株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　2531　URL　http://www.takara.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）大宮　久
問合せ先責任者（役職名）取締役IR室長　（氏名）松崎　修一郎　TEL 075-241-5124
四半期報告書提出予定日　平成21年8月12日
配当支払開始予定日　—

（百万円未満切捨て）

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績（平成21年4月1日～平成21年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	44,874	△0.9	950	△0.0	1,180	2.0	547	△28.4
21年3月期第1四半期	45,290	—	950	—	1,156	—	765	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	2.59	—
21年3月期第1四半期	3.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	192,792	105,442	48.2	442.26
21年3月期	190,792	105,316	48.8	437.42

（参考）自己資本　22年3月期第1四半期　92,996百万円　21年3月期　93,093百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
（基準日）	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	8.50	8.50
22年3月期	—				
22年3月期（予想）		—	—	8.50	8.50

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成22年3月期の連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）
（%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	91,000	△1.1	2,300	△16.3	2,400	△13.0	1,200	△55.4	5.69
通期	193,200	0.2	8,900	0.6	9,000	3.4	5,000	△11.3	23.74

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年3月期第1四半期	217,699,743株	21年3月期	217,699,743株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	7,422,349株	21年3月期	4,874,064株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	22年3月期第1四半期	211,681,882株	21年3月期第1四半期	215,627,782株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年5月12日発表の連結業績予想の見直しは行っておりません。なお、自己株式数の変動に伴い1株当たり当期純利益につき変更しております。上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページ「定性的情報・財務諸表等3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期の連結売上高は、前年夏以降の急激な円高の影響を受けた海外子会社の売上が円貨換算で減少したことにより、前年同期比99.1%の44,874百万円と若干の減収となりました。売上総利益も前年同期比98.9%の16,945百万円となりましたが、広告宣伝費などの販売費及び一般管理費の削減により営業利益は同100.0%の950百万円となりました。また、経常利益は営業外費用の減少により前年同期比102.0%の1,180百万円と僅かながら増益となりました。特別損益では、前年に比べ固定資産売却益が減少したため、四半期純利益は前年同期比71.6%の547百万円と減益となりました。

事業の種類別セグメントの業績概要及び品種別販売実績（外部売上高）は以下のとおりです。

（酒類・調味料セグメント）

酒類・調味料セグメントでは、新型インフルエンザの影響や、消費者の買い控え、低価格志向が進むなか、焼酎、ソフトアルコール飲料、原料用アルコール等は増収となりましたが、清酒、ワインなどが減収となり、セグメント全体の外部売上高は前年同期比99.8%の37,624百万円、セグメント売上高は同99.7%の37,859百万円となりました。利益面では、継続的なコストダウン・コストカットにより売上原価・販売費及び一般管理費ともに減少したため、セグメント営業利益は前年同期比113.6%の1,299百万円と増益となりました。

（バイオセグメント）

バイオセグメントでは、研究用試薬の売上高が円高の影響により減少したため、理化学機器の売上高増加があったものの、外部売上高は前年同期比97.9%の3,745百万円、セグメント売上高は同96.6%の3,852百万円となりました。利益面では売上原価が、品目別原価率の違いにより売上高の減少とは逆に増加したため、売上総利益は前年同期比93.0%の2,056百万円となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費は増加したものの、販売促進費の減少等により前年同期比98.2%の2,302百万円となりましたので、営業損失は246百万円（前年同期比113百万円減益）となりました。

（物流セグメント）

物流セグメントでは、景気低迷の影響を受け、外部売上高は前年同期比92.2%の1,999百万円と減収となり、セグメント売上高も前期比95.7%の3,895百万円となりました。軽油価格も再び上昇に転じ、売上総利益は前年同期比83.4%の215百万円となり、販売費及び一般管理費も増加したため、セグメント営業利益は同31.9%の23百万円と大きく減少いたしました。

（その他セグメント）

その他セグメントの外部売上高は前年同期比93.8%の1,504百万円、セグメント売上高は同93.8%の2,699百万円となり、セグメント営業利益は同116.8%の21百万円となりました。

品種別販売実績

事業の種類別セグメントの名称	前第１四半期連結会計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	前年同期比
品種	金額（百万円）	金額（百万円）	（%）
酒類・調味料			
焼酎	19,248	19,359	100.6
ソフトアルコール飲料	4,998	5,185	103.7
清酒	3,958	3,719	94.0
その他酒類	2,666	2,341	87.8
酒類計	30,872	30,605	99.1
本みりん	3,727	3,430	92.0
その他調味料	1,389	1,538	110.7
調味料計	5,117	4,968	97.1
原料用アルコール等	1,296	1,601	123.5
その他	406	448	110.3
計	37,692	37,624	99.8
バイオ	3,824	3,745	97.9
物流	2,169	1,999	92.2
その他	1,603	1,504	93.8
合計	**45,290**	**44,874**	**99.1**

２．連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期末の総資産は192,792百万円となり前連結会計年度末に比べ2,000百万円の増加となりました。流動資産は、短期資金の運用として保有していた有価証券が3,406百万円減少したため、商品及び製品や、その他の流動資産が増加したものの前連結会計年度末に比べ892百万円減少いたしました。固定資産では株式市況の回復により投資有価証券の時価が増加したため同2,893百万円の増加となりました。

負債は、投資有価証券の時価評価に係る繰延税金負債が増加したことなどにより負債合計で1,874百万円増加いたしました。純資産では配当などによる利益剰余金の減少や株主還元策としての自己株式の取得などの減少要因がありましたが、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の増加もあったため少数株主持分も含めた純資産合計は126百万円の増加となりました。

当第１四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,116百万円や減価償却費1,169百万円などがありましたが、法人税等の支払額△2,840百万円などによりほぼ前年同期並みの△350百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは有価証券の売却及び償還による収入などにより1,775百万円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは自己株式の取得による支出△1,370百万円、配当金の支払額△1,424百万円などにより△2,840百万円となりました。以上の結果、当四半期末の現金及び現金同等物の残高は32,435百万円と前連結会計年度末に比べ1,231百万円減少いたしました。

３．連結業績予想に関する定性的情報

平成21年５月12日に公表いたしました業績予想は、見直しを行っておりません。なお、第１四半期の営業利益等の進捗状況は期初見込を若干上回っておりますが、当社グループは第１四半期の比重が比較的低いため、上期及び通期の業績予想に与える影響は軽微であります。

４．その他

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき事項はありません。

（３）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

５．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成21年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,419	25,596
受取手形及び売掛金	46,632	46,307
有価証券	12,943	16,350
商品及び製品	20,873	19,895
仕掛品	1,063	1,060
原材料及び貯蔵品	2,627	2,778
その他	6,370	4,830
貸倒引当金	△94	△91
流動資産合計	115,836	116,728
固定資産		
有形固定資産	43,849	44,045
無形固定資産		
のれん	2,129	2,011
その他	2,460	2,472
無形固定資産合計	4,590	4,484
投資その他の資産		
投資有価証券	21,328	18,429
その他	7,472	7,372
貸倒引当金	△284	△268
投資その他の資産合計	28,516	25,534
固定資産合計	76,956	74,063
資産合計	192,792	190,792
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,087	14,420
短期借入金	5,049	5,062
未払酒税	7,879	7,902
未払費用	3,160	3,544
未払法人税等	1,021	2,285
賞与引当金	3,059	1,978
その他の引当金	1,680	1,487
その他	6,869	5,476
流動負債合計	42,808	42,158
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	5,542	5,548
退職給付引当金	9,190	9,093
長期預り金	6,520	6,464
その他	3,287	2,209
固定負債合計	44,541	43,317
負債合計	87,349	85,475

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成21年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	3,198	3,198
利益剰余金	79,656	80,918
自己株式	△4,603	△3,212
株主資本合計	91,477	94,131
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,081	2,340
繰延ヘッジ損益	△17	△19
為替換算調整勘定	△2,544	△3,358
評価・換算差額等合計	1,519	△1,037
少数株主持分	12,446	12,222
純資産合計	105,442	105,316
負債純資産合計	192,792	190,792

（２）四半期連結損益計算書
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）
売上高	45,290	44,874
売上原価	28,161	27,928
売上総利益	17,128	16,945
販売費及び一般管理費		
販売促進費	5,521	5,636
販売促進引当金繰入額	1,656	1,648
賞与引当金繰入額	590	603
その他	8,409	8,107
販売費及び一般管理費合計	16,177	15,995
営業利益	950	950
営業外収益		
受取配当金	247	180
その他	173	231
営業外収益合計	421	412
営業外費用		
支払利息	153	143
その他	61	38
営業外費用合計	215	182
経常利益	1,156	1,180
特別利益		
固定資産売却益	282	7
その他	9	－
特別利益合計	291	7
特別損失		
固定資産除売却損	－	18
投資有価証券評価損	－	22
ゴルフ会員権評価損	－	21
たな卸資産評価損	95	－
その他	27	8
特別損失合計	122	70
税金等調整前四半期純利益	1,324	1,116
法人税、住民税及び事業税	1,020	963
法人税等調整額	△416	△378
法人税等合計	603	584
少数株主損失（△）	△43	△15
四半期純利益	765	547

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,324	1,116
減価償却費	1,216	1,169
受取利息及び受取配当金	△310	△222
支払利息	153	143
売上債権の増減額（△は増加）	△477	△179
たな卸資産の増減額（△は増加）	△465	△558
仕入債務の増減額（△は減少）	879	△392
未払酒税の増減額（△は減少）	139	△23
その他	△453	1,290
小計	2,005	2,344
利息及び配当金の受取額	352	251
利息の支払額	△103	△106
法人税等の支払額	△2,692	△2,840
営業活動によるキャッシュ・フロー	△437	△350
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,358	△102
有価証券の売却及び償還による収入	－	2,492
有形及び無形固定資産の取得による支出	△607	△572
有形固定資産の売却による収入	487	21
その他	243	△64
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,235	1,775
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△5,000	－
自己株式の取得による支出	△1,125	△1,370
配当金の支払額	△1,404	△1,424
その他	4	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,526	△2,840
現金及び現金同等物に係る換算差額	△326	185
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△9,525	△1,231
現金及び現金同等物の期首残高	42,350	33,666
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,825	32,435

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報
〔事業の種類別セグメント情報〕

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日）						
	酒類・調味料（百万円）	バイオ（百万円）	物流（百万円）	その他（百万円）	計（百万円）	消去又は全社（百万円）	連結（百万円）
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	37,692	3,824	2,169	1,603	45,290	－	45,290
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	262	161	1,899	1,274	3,598	(3,598)	－
計	37,954	3,986	4,068	2,878	48,888	(3,598)	45,290
営業利益又は営業損失（△）	1,144	△132	73	18	1,104	(153)	950

	当第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）						
	酒類・調味料（百万円）	バイオ（百万円）	物流（百万円）	その他（百万円）	計（百万円）	消去又は全社（百万円）	連結（百万円）
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	37,624	3,745	1,999	1,504	44,874	－	44,874
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	235	106	1,896	1,194	3,432	(3,432)	－
計	37,859	3,852	3,895	2,699	48,307	(3,432)	44,874
営業利益又は営業損失（△）	1,299	△246	23	21	1,099	(148)	950

（注）１．事業区分の方法
事業区分は、製品の種類・性質に加え販売市場の類似性などを考慮して、酒類・調味料、バイオ、物流及びその他の４事業に区分しております。

２．各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
酒類・調味料	焼酎、ソフトアルコール飲料、清酒、ワイン、ウイスキー、中国酒、本みりん、食品調味料、原料用アルコール
バイオ	研究用試薬、理化学機器、研究受託サービス、遺伝子工学研究関連特許実施許諾対価料、遺伝子導入関連製品、キノコ、ブナシメジ特許実施許諾対価料、バイオ医食品
物流	貨物運送業、倉庫業、流通加工業
その他	ラベル、ポスター、カタログ、カートン、段ボールケース、包装紙、販促用品、不動産賃貸、健康食品

〔所在地別セグメント情報〕

前第１四半期連結累計期間（自平成20年４月１日　至平成20年６月30日）及び当第１四半期連結累計期間（自平成21年４月１日　至平成21年６月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90％を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第１四半期連結累計期間（自平成20年４月１日　至平成20年６月30日）及び当第１四半期連結累計期間（自平成21年４月１日　至平成21年６月30日）

海外売上高は、連結売上高の10％未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。